

市長日記 特別定額給付金(1人につき10万円)は佐世保市内で使いましょう



新型コロナウイルス感染症の早期終息を目指し、市民の皆さまには生活や経済活動の制限に大変なご負担と犠牲をもってご協力いただいていますことに厚くお礼を申し上げます。また、感染者の医療や感染防止対策にご自身のリスクを顧みず、献身的にご尽力を賜っている医療従事者をはじめ、全ての関係者の皆さまに心から感謝の意を表する次第です。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、国民・市民の皆さまのご協力によって少し勢いが収まってきているようにも感じられますが、まだまだ気を緩めてはなりません。この原稿は5月初旬に書いていますが、今しばらくは感染症対策の専門家や国の方針に従い、耐え忍び我慢しなければならないと思っています。

今回の感染症は、ほとんどの国民、ほとんどの業種に影響が及んでいます。こうした状況を受け、国や県、市では、皆さまの生活や経済活動に対し、これまでにない大規模な財政出動(経済を良くしたり景気を安定させたりする目的で行われる政治政策)を行い、さまざまな対策を行っていますが、あまりにも影響幅が広く、そして深いため、「大海に一滴を注ぐ」ような状況であり、市民の皆さまや事業者の窮状を満たすには至っていないのが現状です。

しかし、今回の感染症は百年に一度あるかないかのことであり、国の存亡にも関わる極めて憂慮すべきことだと思っています。本市としましては、今後とも国や県と連携してできる限りの対策を講じ、この厳しい状況から何とか脱していきたく思いますので、市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

この市民の皆さまにご協力をお願いしたいこととして、国の支援策で国民1人当たり一律10万円が給付される「特別定額給付金」の活用があります。この給付金は1人当たりは10万円ですが、佐世保市全体では人口約25万人とし



て約250億円の規模になり、まさに、これまでにない空前絶後の規模の支援策です。

この給付金の用途については、市民の皆さまそれぞれに考えがあられると思います。当面の生活資金として、これまで欲しかった物の購入費用として、孫や大切な人へのプレゼント費用としてなど、有効な使い道をいろいろと考えられることは大変喜ばしいことだと思います。

そこで、私から一つお願いがあります。「今回の特別定額給付金を使う際には、ぜひ佐世保市内で消費していただきたい」ということです。何か物を購入する時には、ぜひ地元のお店でお買い求めいただきたい。そして、外出自粛が緩和された時には、ぜひ地元の飲食店で外食を楽しんでいただきたいと思っています。

他都市での購入や通信販売での購入の多くは地元経済の活性化につながりません。また、「貯金は美德」という言葉もありますが、今は「消費こそ美德」だと思います。今回の私たちの地元での消費が、苦境に立たされている故郷佐世保の経済活性化につながり、市民生活を救うことに大きくつながります。皆さまお一人お一人のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在のこの厳しい状況を一日も早く終息させるため、そして、元気で活力ある佐世保を取り戻すため、市民一丸となって頑張りましょう。

佐世保市長 朝長 則男



展海峰を訪れたブジョルド理事長(写真右)

九十九島と世界で最も美しい湾クラブ

世界で最も美しい湾クラブ 理事長 ミシェル・ブジョルドさん

私が住む州にある「シャルール湾」は、カナダの東海岸に位置しており、サン・ローラン湾と大西洋につながっています。北はケベック、南はニューブランズウィック州の2つの州にまたがっています。フランスのサン・マロに生まれた探検家ジャック・カルティエは、ヨーロッパ人で初めてカナダの内陸部を探検した人です。北アメリカ大陸の北側を通してアジアへと抜ける、いわゆる北西航路の探索の中で、1534年7月7日にシャルール湾にやってきたことが、彼の手記に残っています。

「シャルール」はフランス語で「暖かい」という意味です。彼が滞在していた7月は暖かい時期で、7、8月の気温は34℃ほどになります。しかし、1、2月には正反対にマイナス30℃ほどになります。シャルール湾周辺では林業と漁業が盛んで、ケベック州の中でもとりわけ自然豊かな美しい場所だと思っています。

さて、2019年10月に私は「世界で最も美しい湾クラブ」の理事長として、佐世保市の九十九島を訪れました。

なんと思いついた訪問だったことでしょうか！数えきれないほどの島々が集まって形作られた九十九島の美しい景観は、今でも私の心に残っています。

特に、さまざまな展望台から望む九十九島はどれも素晴らしく、日本国内にはたくさんの湾がありますが、山の上からも景色を楽しむことができるという点は、九十九島ならではのポイントではないでしょうか。

佐世保の人々はとても寛大で、出会った瞬間から私を心から歓迎してくださいました。佐世保市の皆さまのおかげで、佐世保での滞在は忘れられないものとなりました。現在、そして後世に美しい湾を残していくために、一体となってさまざまな取り組みを行ってくださっている佐世保の人々に感謝しています。「世界で最も美しい湾クラブ」の重要な活動である「持続可能な開発と湾の保全」のために、これからも加盟湾同士、手を取り合って進んでいきましょう。

観光課 ☎ 24-1111

人の動き(5月1日現在)

- 総人口 244,717人(前月比 +666人)
男性 116,064人(+487人)、女性 128,653人(+179人)
- 世帯数 105,113世帯(前月比 +371世帯)
- 4月中の動き
転入 1,691人、転出 894人、出生 158人、死亡 289人

させぼ市政だより

- テレビ NBC 土曜 9:25 ~ 9:30、KTN 土曜 11:45 ~ 11:50
NCC 土曜 16:25 ~ 16:30、NIB 日曜 6:30 ~ 6:35
※「キラっ都させぼ」は第1・3土曜 NBC、KTN、第2・4土曜 NCC、第2・4日曜 NIB で放送(TVSは毎週日曜 18:55 ~ 19:00)しています。
- ラジオ FM長崎 火曜 9:05 ~ 9:10
FMさせぼ 金曜 13:00 ~ 13:55、16:00 ~ 16:55(再放送)
土・日曜 10:00 ~ 10:55(再放送)
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

聞いて「徳」する話 60

例会であった話

私の町内の老人会では2カ月に一度、例会でしゃべりやカラオケを楽しんでいます。今回例会であった話を紹介します。

小学校下の通学路途中にあるお地藏様に毎朝線香をあげている男性から、「お地藏様のほくらに手紙が置いてあり、その中に『いつもお地藏様を大切にしていたありがとうございます。使ってください』とかわいい絵の付いた小さなハンカチが同封されていた」という話を聞きました。

また、別の女性も最近とてもいいことがありましたと話されました。バスを降りて家に帰る途中中休んでいると、男の子から「大丈夫ですか？お家はどこですか、送りますか？」と声を掛けてもらったそうで、その子は小学3年生だったそうです。女性は「少し休めば大丈夫だから」と丁寧に断ったそうですが、とてもうれしかったそうです。この日の例会はいい話で大変盛り上がりしました。

佐世保徳育推進会議
☎ 23・2856

「聞いて徳する話」を随時募集しています。詳しくはお尋ねください。